

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	当院での誤嚥性肺炎治療における包括的医療の後方視的研究
研究責任者	呼吸器内科 出雲 雄大, 久世 眞之
研究機関名	日本赤十字社医療センター呼吸器内科、リハビリテーション科
研究目的と意義	当センターで2018年2月～2019年2月に誤嚥性肺炎と診断され治療がなされた症例について、症例背景と施行された治療および転帰について後ろ向きに検討します。
研究期間	2019年3月承認日～2021年3月31日
研究方法	<p>&lt;研究デザイン&gt;</p> <p>本研究は後ろ向き研究であり、すでに検査がおこなわれている症例のカルテ閲覧により、検査・治療内容および転帰について検討するものである。本研究は疫学指針の対象とします。</p> <p>&lt;方法&gt;</p> <p>2018年2月1日～2019年2月28日に入院中で誤嚥性肺炎の診断および治療をおこなわれた症例について、電子カルテ閲覧により、症例背景と介入されたリハビリテーション、退院までの期間や再入院有無について調べ、理学療法を含めた包括的治療が在院日数や再入院有無などに関係があるかどうかを後ろ向きに検討します。</p> <p>主な評価項目は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>性別、年齢、胸部画像所見、治療方法および期間、理学療法介入時フィジカルアセスメント (Barthel Index, 改訂水飲みテスト, フードテストなど)、在院日数、退院時嚥下調整分類および摂食状況レベル</li> </ul> <p>この方法は後ろ向き観察研究という方法で、新たに患者様への負担はかかりません。匿名化とって個人名を消去し、代わりに番号などを付与して処理を行うことで、誰のデータか分からないようにして、統計解析を行います。その結果は、呼吸器病に関する学会や医学雑誌に公表されることがあります。</p> <p>研究に組み入れられることを希望されない方は、担当医や下記の問い合わせ先にお知らせください。その場合、データ収集や統計解析は致しません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター呼吸器内科</p> <p>〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22</p> <p>担当者：久世眞之、出雲雄大</p> <p>TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>